

# 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の特徴（和歌山県）

## 1 教科に関する調査結果

### (1) 和歌山県（公立）と全国（公立）の平均正答率

単位：%

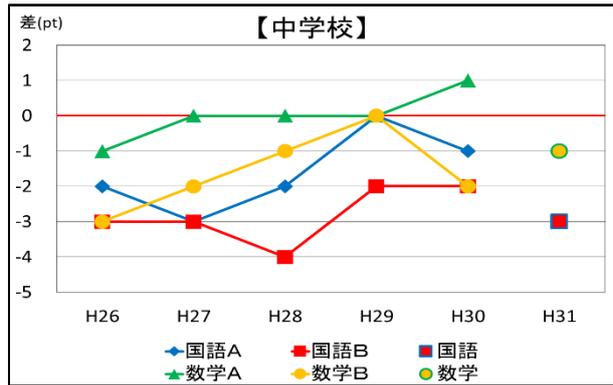
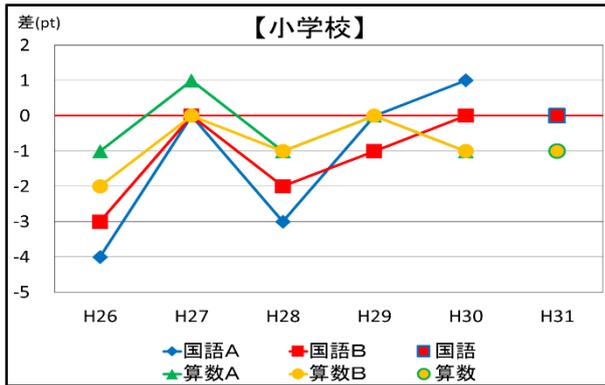
	小学校国語	小学校算数	中学校国語	中学校数学	中学校英語
県	64	66	70	59	55
全国	64	67	73	60	56

※平成28年度からは、学力面において、細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものではないため、平均正答率については整数値で示している。

### (2) 和歌山県（公立）平均正答率と全国（公立）平均正答率との差の推移

単位：pt(ポイント)

	小学校国語		小学校算数		中学校国語		中学校数学		中学校英語
	A	B	A	B	A	B	A	B	
H26	-4	-3	-1	-2	-2	-3	-1	-3	
H27	0	0	1	0	-3	-3	0	-2	
H28	-3	-2	-1	-1	-2	-4	0	-1	
H29	0	-1	0	0	0	-2	0	0	
H30	1	0	-1	-1	-1	-2	1	-2	
H31(R1)	0		-1		-3		-1		-1



※平成31年度からは、全ての教科において知識・活用を一体的に問う問題形式となったため、従来のA/B区分がなくなっている。

### (3) 調査結果の特徴

小学校は、国語、算数ともに、昨年度と同様に全国平均と同程度の結果となっている。  
 中学校は、国語の結果が昨年度を下回ったが、数学は全国平均と同程度の結果となっている。  
 また、初めての調査となった英語の結果は21位であった。

#### ○成果

- ・ 小学校算数では、昨年度課題のあった「数量関係」の平均正答率が、全国平均を上回った。
- ・ 中学校英語では、「書くこと」の平均正答率が、全国平均を上回った。

#### ●課題

- ・ 中学校国語では、以下の課題がある。  
 問題文に書かれた情報を整理して内容を正確に理解すること  
 読み解いたことをもとに自分の考えをまとめること
- ・ 記述式問題の平均正答率は、小学校国語以外の教科で全国平均を下回った。

## 2 質問紙調査結果

### ○成果

- ・「授業の内容はよく分かる」と回答した子供の割合が、全国を上回った。  
【全国差 小学校国語+1.0pt、中学校国語+2.5pt】  
【全国差 小学校算数+2.2pt、中学校数学+5.0pt】  
【全国差 中学校英語+3.8pt】→概要 P6(1)②
- ・小学校では、「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり全く読書をしていない」と回答した子供の割合が、全国より低くなった。  
【全国差 小学校-0.4pt】→概要 P8(3)②
- ・「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」と回答した子供の割合が、全国を上回った。  
【全国差 小学校+0.5pt、中学校+0.2pt】→概要 P9(4)③
- ・「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」と回答した子供の割合が、全国を上回った。  
【全国差 小学校+0.2pt、中学校+0.6pt】→概要 P9(4)④

### ●課題

- ・中学校では、「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した子供の割合が、全国より低い。  
【全国差 中学校-2.0pt】→概要 P6(1)④
- ・中学校では、「1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いたり読んだりして概要や要点をとらえる活動が行われていたと思う」と回答した子供の割合が、全国より低い。  
【聞くこと：全国差 中学校-4.2pt】→概要 P7(1)⑤  
【読むこと：全国差 中学校-4.4pt】→概要 P7(1)⑥
- ・小学校、中学校ともに、「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」と回答した子供の割合が、全国より低い。  
【全国差 小学校-2.3pt、中学校-2.5pt】→概要 P7(2)①

## 3 これまでの主な取組

- 県教育委員会、市町村教育委員会、学校が一体となって、下記の学力向上対策に取り組んだ。
  - ・県内全ての学校による「スクールプラン」「学力向上推進プラン」に基づいた組織的な取組を指導・支援
  - ・市町村教育委員会とともに、課題の大きい学校を重点的に訪問し、各学校の課題改善に向けた取組を指導・支援
  - ・「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」の充実や授業事例集（国、理）の活用により、主体的・対話的で深い学びを実現できる授業づくりを推進
  - ・マスター問題集（国、理）、評価問題（国、算・数、理、英）、評価テスト（国、算・数、理、英）を配信し、課題改善に向けた取組を徹底

## 4 今後の主な取組

- 市町村教育委員会指導事務担当者等会議
- 学力向上推進に係る研修会
  - ・中学校の部（紀北及び紀南の部）  
内容：国語、数学、英語 対象：各教科担当教員
  - ・小学校の部（各校において動画視聴及び協議）  
内容：国語、算数 対象：全教職員
- 和歌山県学習到達度調査（対象：小4・5と中1・2 教科：国、算・数、理〈小5と中2〉）
- 評価問題（対象：小5・6と中1・2 教科：国、算・数、理、英〈中〉）、評価テスト（対象：小5と中2 教科：国、算・数、理、英〈中2〉）、長期休業中の家庭学習用教材（国、算・数、理、英）の配信
- 地方別小中学校長研修会、地方別小中学校教頭研修会